Power Academy
電気工学の新たな未来に向けて

パワーアカデミー研究助成 成果報告会開催のご案内

パワーアカデミーでは、電気工学分野の活性化のため、活動の一環として大学・高専等の先生方に研究助成を行っております。
これは、電力供給システムの将来、高度なエネルギー利用、経年設備のリフレッシュ・高機能化など様々な視点から、産業界の中長期的な課題を想定し、アピール性が高く魅力的なテーマを設定して、産学共同研究を促進する取り組みです。
この度、平成23年電気学会　電力・エネルギー部門大会（福井大学）に併せて成果報告会を開催いたします。
一般の方々もご参加いただけますので、ぜひご聴講ください。

日時	平成23年8月30日［火］13:00 ～ 16:35
場所	福井大学 文京キャンパス □ 総合研究棟Ⅲ（工学系1号館）122M教室：電気学会 電力・エネルギー部門大会 第6会場 □ 最寄駅：私鉄えちぜん鉄道／福大前西福井駅
内容	● パワーアカデミーの取り組み紹介 ● 特別推進研究（2009年度採択分）成果発表 ● 萌芽研究（2009年度採択分）成果発表
聴講	無料（事前申し込み不要）
主催	パワーアカデミー
連絡先	パワーアカデミー事務局（電気事業連合会 技術開発部内） 〒100-8118 東京都千代田区大手町1-3-2経団連会館 Tel：03（5221）1450（代表）　Fax：03(6361)9030 Email：inazawah@fepc.or.jp（担当：稲澤）

パワーアカデミーとは

大学や高等専門学校（高専）における電気工学系学科は、研究、教育の両面において、電力業界の事業基盤を支える重要なものです。現在、我々が直面している地球温暖化問題や、複雑化するエネルギー問題を解決していくためには電気工学の力が必要であり、その技術革新の源である基礎研究や教育の場である電気工学系学科の維持・発展が今後とも不可欠です。
パワーアカデミーは、産学が共通のビジョンのもとに連携し、電気工学分野の研究、教育を全国的に支援するとともに、本分野の魅力や重要性に対する社会の認識を高めるPR活動を展開し、電気工学分野の一層の発展に寄与することを目的としています。

パワーアカデミー

URL: http://www.power-academy.jp/

パワーアカデミー研究助成
成果報告会プログラム

□日時：2011年8月30日（火）13:00〜16:35

□場所：福井大学 文京キャンパス
総合研究棟Ⅲ（工学系1号館）122M教室
電気学会 電力・エネルギー部門大会 第6会場

時間	講演タイトル及び発表者		研究種別
13:00—13:05	開会挨拶	手島 康博（事務局長）	
13:05—13:15	パワーアカデミー活動の紹介	朴木 雅喜（事務局）	
13:15—14:15	再生可能エネルギー調和型次世代電力システムを見据えた先進協調体系の創出ー日本型先進グリッドを目指してー 概要 シミュレーションおよび模擬実験を通じ、送配電ネットワーク・需要家・太陽光発電群を集中的に制御する次世代電力システムを創出。	林 泰弘（早稲田大） 若尾 真治（早稲田大） 飯岡 大輔（名城大） 太田 豊（東京大）	特別推進研究
14:15—14:35	非線形誘電率材料を用いた電界制御機能付電気絶縁材料の可能性検討	加藤 克巳（新居浜高専）	萌芽研究
14:35—14:50	休憩		
14:50—15:50	自然エネルギー型分散電源の大量導入を目指した次世代電力システムを支えるパワーエレクトロニクス技術とシステム・制御・解析技術の融合によるシステム協調の高度化に関する研究 概要 パワエレ装置の開発を通じ、配電ネットワークレベルを自律分散的に制御する次世代電力システムを構築。	木村 紀之（大阪工業大） 安田 恵一郎（首都大学東京） 石亀 篤司（大阪府立大） 佐々木 豊（広島大）	特別推進研究
15:50—16:10	先進的時系列解析手法による太陽光発電システムの最適運用と信頼性評価に関する研究	與那 篤史（琉球大）	萌芽研究
16:10—16:30	実験および数値解析による遮断アークにおける固体材料相互作用の影響の解明	田中 康規（金沢大）	萌芽研究
16:30—16:35	閉会挨拶	尾崎 和弘（事務局）	

上記報告案件は2009年度採択分です。発表内容及び時間は変更となる場合があります。予めご了承ください。

Power Academy
電気工学の新たな未来に向けて

パワーアカデミー研究助成 成果報告会開催のご案内

パワーアカデミーでは、電気工学分野の活性化のため、活動の一環として大学・高専等の先生方に研究助成を行っております。
これは、電力供給システムの将来、高度なエネルギー利用、経年設備のリフレッシュ・高機能化など様々な視点から、産業界の中長期的な課題を想定し、アピール性が高く魅力的なテーマを設定して、産学共同研究を促進する取り組みです。
この度、平成23年電気学会　電力・エネルギー部門大会（福井大学）に併せて成果報告会を開催いたします。
一般の方々もご参加いただけますので、ぜひご聴講ください。

日時	平成23年8月30日［火］13:00 ～ 16:35
場所	福井大学 文京キャンパス □ 総合研究棟Ⅲ（工学系1号館）122M教室：電気学会 電力・エネルギー部門大会 第6会場 □ 最寄駅：私鉄えちぜん鉄道／福大前西福井駅
内容	● パワーアカデミーの取り組み紹介 ● 特別推進研究（2009年度採択分）成果発表 ● 萌芽研究（2009年度採択分）成果発表
聴講	無料（事前申し込み不要）
主催	パワーアカデミー
連絡先	パワーアカデミー事務局（電気事業連合会 技術開発部内） 〒100-8118 東京都千代田区大手町1-3-2経団連会館 Tel：03（5221）1450（代表）　Fax：03(6361)9030 Email：inazawah@fepc.or.jp（担当：稲澤）

パワーアカデミーとは

大学や高等専門学校（高専）における電気工学系学科は、研究、教育の両面において、電力業界の事業基盤を支える重要なものです。
現在、我々が直面している地球温暖化問題や、複雑化するエネルギー問題を解決していくためには電気工学の力が必要であり、その技術革新の源である基礎研究や教育の場である電気工学系学科の維持・発展が今後とも不可欠です。
パワーアカデミーは、産学が共通のビジョンのもとに連携し、電気工学分野の研究、教育を全国的に支援するとともに、本分野の魅力や重要性に対する社会の認識を高めるPR活動を展開し、電気工学分野の一層の発展に寄与することを目的としています。

パワーアカデミー

URL: http://www.power-academy.jp/

パワーアカデミー研究助成
成果報告会プログラム

□日時：2011年8月30日（火）13:00〜16:35

□場所：福井大学 文京キャンパス
総合研究棟Ⅲ（工学系1号館）122M教室
電気学会 電力・エネルギー部門大会 第6会場

時間	講演タイトル及び発表者		研究種別
13:00—13:05	開会挨拶	手島 康博（事務局長）	
13:05—13:15	パワーアカデミー活動の紹介	朴木 雅喜（事務局）	
13:15—14:15	再生可能エネルギー調和型次世代電力システムを見据えた先進協調体系の創出ー日本型先進グリッドを目指してー 概要 シミュレーションおよび模擬実験を通じ、送配電ネットワーク・需要家・太陽光発電群を集中的に制御する次世代電力システムを創出。	林 泰弘（早稲田大） 若尾 真治（早稲田大） 飯岡 大輔（名城大） 太田 豊（東京大）	特別推進研究
14:15—14:35	非線形誘電率材料を用いた電界制御機能付電気絶縁材料の可能性検討	加藤 克巳（新居浜高専）	萌芽研究
14:35—14:50	休憩		
14:50—15:50	自然エネルギー型分散電源の大量導入を目指した次世代電力システムを支えるパワーエレクトロニクス技術とシステム・制御・解析技術の融合によるシステム協調の高度化に関する研究 概要 パワエレ装置の開発を通じ、配電ネットワークレベルを自律分散的に制御する次世代電力システムを構築。	木村 紀之（大阪工業大） 安田 恵一郎（首都大学東京） 石亀 篤司（大阪府立大） 佐々木 豊（広島大）	特別推進研究
15:50—16:10	先進的時系列解析手法による太陽光発電システムの最適運用と信頼性評価に関する研究	與那 篤史（琉球大）	萌芽研究
16:10—16:30	実験および数値解析による遮断アークにおける固体材料相互作用の影響の解明	田中 康規（金沢大）	萌芽研究
16:30—16:35	閉会挨拶	尾崎 和弘（事務局）	

上記報告案件は2009年度採択分です。発表内容及び時間は変更となる場合があります。予めご了承ください。